

児童生徒会役員懇談会が行われました



夏休みが始まりました。この休業期間は、紙での配布ができませんので、小学校では試みに、(PDF で)メールに添付する形でお届けします。

22日(火)の午前中に、区内のすべての小・中・義務教育学校それぞれの児童・生徒会等役員代表者が集う会がありました。台場小からは、代表委員会の4・5年生6名が出席してくれました。

以前は1つの会場に全校が集まるやり方でしたが、昨年度から、中学校(義務学)ごとに数校ずつ集まり、各校

会場をオンラインでつなぐ形式に変更になりました。台場小は御殿山小の代表児童とともに、品川学園に集合し、3校で実践報告や意見交換などを行いました。(左の写真参照)

この児童生徒役員会懇談会というのは、もともとは中学校の生徒会役員懇談会として30年以上前にスタートした取り組みで、会自体は今年が33回目なのだそうです。品川区が、小中一貫教育に取り組み始めてから、小学生も参加する会になり、昨年度からはオンラインも活用したハイブリット形式になったということでした。会の冒頭で、会の趣旨説明がありました。①いじめの未然防止につながるような取り組み、②よりよい学校づくりに向けた取り組み、それらについて近隣小中学校で紹介しあい、自校の取り組みをさらに深めるきっかけにしてほしいということでした。

本校の子どもたちは、「自分も大事、友達も大事、認め合い」をスローガンに、みんなで協力し安心・安全な学校づくりをめざして、休み時間の見守り(さわやか隊)の取組やキャラクター紹介、ユニセフ募金の活動のことなどを報告しました。参加した他校の役員から、さわやか隊の呼びかけ活動が学校の雰囲気をよくしていると思うといった評価の言葉をもらいました。

後半の、今後の活動の見通しでは、「今取り組んでいる、たてわり班(2 学年ずつ)を、全校でグループを作って、全校的なお祭りのような活動をしてみたい」「ありがとうポストの取り組みを、もっと活発にしたい」「代表委と人権委の連携・協力の企画を考えていきたい」などと、活動に対しても前向きな考えが発表されました。私も、ぜひ、実現に向けて協力していきたいと思いました。今後が楽しみです。

グループの3校の報告が終わると、最後にもう一度オンラインで各会場をつなぎ、それぞれの発表内容の報告がありました。区教委の担当の先生からは、児童会や生徒会が、決して先生や学校の下請けではなく、今日の報告にあったように、自分たちで進んでよりよい学校づくりを進められる組織になってほしいというまとめのお話をいただき会を終えました。

参加した6名の代表委のみなさん、責任をもって最後までやりきってくれました。ありがとうございました。